

あきたかたMeet-up～#若者と語ってみる～

12月26日(火)

開催地 クリスタルアージュ

本市の将来を担う若者世代が、市政に興味を持ち、参画してもらうきっかけとするため、高校生を含む平成生まれの若者たちが「このまちで挑戦してみたいこと」について意見を交わしました。



「さまざまな分野でギネス世界記録への挑戦」、「市全体で取り組む大運動会」、「若者が市政に触れる機会創出のための勉強会」など、市の活性化のためのアイデアが出され、参加者で議論しました。

第60回寒稽古納会

1月7日(日) 開催地 江の川河川敷・甲田文化センターミュージズ

主催 安芸高田市空手道協会

1975年から続く江の川での水中寒稽古。4歳から65歳までの42人が一斉に川に入り、掛け声に合わせて突きを披露しました。忍耐力と精神力を研ぎ澄まし、始まったばかりの2024年への気持ちを新たにしました。



安芸高田市文化財防火デー訓練

1月21日(日)

開催地 日高山神社

文化財防火デーに合わせて実施する、市内の文化財を対象とした防火訓練。今年は八千代町の日高山神社で火災の発見から通報、初期消火を行いました。消防署や消防団、自主防災会などから参加した約110人が、一致団結して取り組みました。



第38回青少年の声を聴く会

1月26日(金) 開催地 向原生涯学習センターみらい

主催 青少年育成安芸高田市民会議向原町支部

向原の青少年が心身ともに健やかに成長し、郷土に誇りを持ち、主体的な人間として生きることを目指して、「21世紀に生きる私の考え～体験を通して学んだこと～」をテーマに発表会を開催。小中学生、高校生が意見発表、園児が活動発表を行いました。



私のお気に入り

オンラインで

～#市長が訪ねてみる～



My Favorite Things

先月号に続いて、新たにサンフレッチェ広島に加入するユース出身の選手をご紹介します。群馬県出身の細谷航平選手(22歳)は、ユースから法政大学を経て、このたび、プロ入りを果たされました。

サッカーを始めたのは小学1年生の時。あまり乗り気ではなかったものの、サッカーを始めたい一つ年上の兄に「お母さんにサッカーやりたいて航平も言え!」と巻き込まれたのがきっかけだそうです(笑)。プロを生む環境は、意外なくらい身近にあるのかも知れません…。

ユース時代の思い出を伺うと、合宿中にこっそりカップラーメンを食べて監督に怒られたという話が出てきました。これだけ聞くと高校生らしい風景ですが、それ以来、細谷選手はカップラーメンを口にしていないそうです。さすがと言うか、やはりと言うか、プロを目指す意志の固さと、それを育むクラブの精神が感じられます。

ユースの仲間や吉田高校の同級生との時間を振り返っている時の表情や声が、何とも幸せそうなのが印象的でした。「これまで応援して下さいました方に恩返しをしたい」と意気込みを語る若者に、地元からさらなる応援を届けましょう。

第35回

サンフレッチェ広島
細谷航平



背番号34/MF/182cm/72kg
2001年12月11日生まれ

取り組みが始まりました

生徒が決める 100万円事業 (高校応援補助金)

吉田高校と向原高校の生徒会長に100万円ずつを渡し、生徒会長の裁量で自由に使うという新しい試み「生徒が決める100万円事業」。昨年12月に生徒と石丸市長の面談が行われ、ついに取り組みがスタートしました。生徒みんなのため、学校のため、この街のために、100万円を自由な発想で活用してもらいます。

今後は、2～3月頃に内容決定、6～7月頃までに実施し、7月に実績報告をしていただく予定です。広報誌でも取り組みを紹介していきますので、市民の皆さんも楽しみにしてください。

石丸市長からコメント

YouTubeからの収入によって実現した事業です。市の未来を託す思いで生徒会長に任せました。どんな使い方をしても構わないと伝えています。この事業を通して権限と責任の意味が学べるはず。それぞれの生徒会長は何を考え、何を行うのか。両校の生徒会から目が離せません。



大人たちを驚かせるような、創造的なアイデアが生まれることを楽しみにしています



政策企画課 地方創生推進係 ☎お太助フォン 42-5612